

夫が守ったのは、
包むことの、
やさしさでした。



朗読劇

すっぴん

2026

2026年6月26日(金)・27日(土)
栃木県総合文化センター サブホール

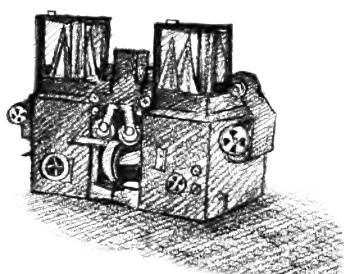
原作 林和子 著「すっぴん」

脚本 大野泰広

演出 白鳥雄介【ストスペ】

音楽 山本清香

岩瀬顕子
大野泰広
峯村リエ
高木涉
田中達也
小林隆
山本清香
ピアノ演奏



世界の食文化を変えた「自動包あん機」開発の物語



宇都宮市に本社を構える
「レオン自動機株式会社」創業者
林虎彦

和菓子好きの主人公・和子(かずこ)は、
不愛想だが腕はいい和菓子職人、
林虎彦(はやしとらひこ)と出会い、結婚。
魔法のように美味しい和菓子を次々と生み出す虎彦
だったが、店が繁盛するにつれ、まるでロボットの
ように餡を包み続ける日々に忙殺されていく。
ある日、虎彦は餡を自動で包める機械「包あん機(ほ
うあんき)」の開発を思い付くが……。
これは世界に誇る和菓子の未来を大変貌させた男と、
男をやさしく包み込んだ女房の、
飾り気のない「すっぴん」の日々の物語。

夫が守ったのは、包むことの、やさしさでした。
朗読劇
すっぴん 2026

栃木県総合文化センター開館35周年記念『とちぎ演劇祭』参加作品

ピアノ演奏



岩瀬 順子
(日穂 -bion-)



大野 泰広



峯村 リエ



高木 涉



田中 達也



小林 隆



山本 清香

原作：林和子 著「すっぴん」 脚本：大野泰広 演出：白鳥雄介(ストスパ) 音楽：山本清香

舞台監督：尾花真 照明：鈴木麻友 音響：中島正人 イラスト：よこやまべん 宣伝美術：中村公平 制作協力：岩間麻衣子 プロデューサー：日野吉太朗
協力：レオン自動機 岩瀬順子後援会 ピオン・エンターテイメント マセキ芸能社 シス・カンパニー アーツビジョン ケイファクトリー 明和運輸株式会社
共催：一般社団法人とちぎ映画演劇文化協議会、公益財団法人とちぎ未来づくり財団 企画・制作：kimagure studio

TIME TABLE

2026年 6月26日(金) 19時～・ 27日(土) 12時～／16時～

※受付開始は開演の45分前、開場は30分前

※未就学児童の入場不可

TICKET

全席自由【前売・当日】5,000円 【学割】2,500円

※高校生以下／要学生証提示

■チケット発売窓口■

発売日 2026年2月20日(金) 10:00



CoRich(こりっち)チケット(事前決済)

[Web] <https://ticket.corich.jp/apply/426719/>

栃木県総合文化センタープレイガイド

[電話] 028-643-1013 (10:00～19:00)

[Web] <https://www.sobun-tochigi.jp/> (24時間)

※窓口のほか、セブンイレブンでもお引き取りいただけます



お得な**3**団体通しチケットもあります！

5月22日(金)・23日(土) 日穂 -bion-

6月26日(金)・27日(土) kimagure studio

7月25日(土)・26日(日) 劇団だるま座



sobun-tochigi.jp

THEATER

栃木県総合文化センター サブホール

栃木県宇都宮市本町1-8 電話 028(643)1000 (代表)



JR宇都宮駅(西口) 下車 バスで「県庁前」下車 徒歩約3分
タクシーで約5分

電車 東武宇都宮線：東武宇都宮駅下車 —— 徒歩で約10分(約700m)

バス 「県庁前」停留所下車 —— 徒歩約3分

JR宇都宮線西口から①②⑥⑦⑧⑨のりば等 県庁前経由にて

自動車 東北自動車道○鹿沼I.C.から約30分

※会場には駐車場がございません。お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください。

【kimagure studio とは】

“誰かの拠り所になる作品を”をコンセプトに、守りたい店や場所・伝え続けたい味・町の名物お母さんなど『伝えたいこと』がある方々とクリエイティブに繋がり、素材に合ったよき形で創作をしながら“伝えるお手伝い”をしています。

@kimagure_studio

YouTube @kimagurestudio982

お問合せ kimagure.nippori@gmail.com

